

予算審査特別委員会

第72号議案・平成23年度白石市一般会計補正予算(第6号)から第75号議案・平成23年度白石市下水道事業会計補正予算(第4号)については、定例会2日目(12月7日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・大野栄光、副委員長・平間知一)は、12月8日に現地調査を行った後に審査し、第72号議案・平成23年度白石市一般会計補正予算(第6号)から第75号議案・平成23年度白石市下水道事業会計補正予算(第4号)については、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。審査の中で議論されたおもな内容は次のとおりです。

◎第72号議案・平成23年度白石市一般会計補正予算(第6号)

〔質疑〕災害廃棄物処理業務委託料で新しく追加になった家屋解体分の説明をお願いしたい。

〔答弁〕8月1日時点で、自分が所有して自分が住んでいる居宅について、半壊以上の損壊を受けたものについては、市が解体事業を行うという制度を開始した。今回それに加え、大規模半壊以上の損壊があり、かつ二次災害防止のため

なっている。当初徴収していた管理費については、今後、早急に払い戻しをする段取りをとりたいと考えている。

〔質疑〕損壊家屋解体に対する補助率について伺いたい。

〔答弁〕災害廃棄物の処理事業費に係る国庫補助は1億7千17万3千円になる。補助対象外については交付税により措置される。

〔質疑〕がれき置き場のコンクリート、岩石、かわらは破砕して再生しようとしているという話を聞いたが、放射線量が心配なものを再生資材として使えるのか。

〔答弁〕がれき1次仮置き場に集められたコンクリート、大谷石などは、砕いて路盤材等に再生利用すると聞いている。

〔質疑〕高度生産性農業用機械施設導入事業費補助金については、被災した名取の農家に対する補助であると思うが、今後どのように支援していくのか。また、加工場などはどうしていくのか。

〔答弁〕名取の被災者の皆さんが白石に来て農業を始めたのは、現地が地盤沈下したため、これまでの営農は不可能と判断したものである。今回の予算は、ハウスを作る予算

〔質疑〕がれき置き場の放射線量測定は行わないのか。

〔答弁〕がれき置き場である天王工業団地については、今現在、測定をしてないが、今後、ぜひ実施する方向で検討していきたい。



がれき置き場現地調査

であるが、白石市独自のいきいき農業推進事業でもトラクターのリースなどの助成もしている。

今後については、できれば名取からだけではなく白石の若い農業者の方を入れて、地域の戦略作物として伸ばしていきたいと考えている。

加工場や作業場については県と協議しており、補助の道を探している。



東日本大震災農業対策交付金事業現地調査

〔質疑〕白石城復興に使ってほしいという寄附はいくらぐらいになっているのか。

〔答弁〕復興寄附金を開始してから11月4日までの合計は529万円となっている。